

令和元年度

# 地域福祉学習事業実績報告

町内の各小中学校(5校)を指定し、地域ぐるみで生徒・児童を守り育てようとする取り組みを支援することにより、共に支えあう地域社会づくりを推進することを目的に「地域福祉学習事業」を支援しています。

(この事業は、共同募金の配分を受けて実施しました。)

## 神戸小学校

### 目的

幅広い体験や活動を通じて、他を思いやる心をもち、進んで行動する児童を育成する。

### 内容

〈5年生 総合的な学習〉

- ・障がいのある方や高齢者の生活の様子や思いについて、タブレットを活用して調べた。
- ・夏休みの課題で福祉ポスターを作成、応募した。
- ・手話のDVDを視聴した。
- ・点字体験を行った。
- ・校区祭にて、老人介護施設勤務の方々に来校頂き、車椅子体験、高齢者疑似体験、視覚障がい者体験を行った。また、神戸町役場健康福祉課や地域包括支援センターの方々からも神戸町の高齢者福祉についての講話を聞いた。
- ・神戸町役場地域包括支援センターの方から認知症についての講話、「もちのき園」の方に障がい者介護施設についての説明を聞いた。



◀車椅子体験



◀高齢者疑似体験



◀視覚障がい者体験

### 成果

- ・校区祭をはじめ、福祉活動に携わっていただいた方々に、お礼の手紙を書いた。
- ・自分たちができることについて考えた。

DVDや模擬体験用備品を活用して、障がいのある方や高齢者の方の疑似体験をしたり、神戸町役場健康福祉課や地域包括支援センターの方々、老人介護施設勤務の方々、「もちのき園」の方々からお話をうかがったりした。これらの体験学習や講話などを通して、福祉の心を養うことができ、自分たちができることを考え、課題意識をもって活動することができた。

## 下宮小学校

### 目的

様々な人とのふれあいや体験的な活動を通して福祉の心を養い、進んで福祉活動に参加しようとする態度を育てる。

### 内容

〈総合的な学習の時間〉

自分と立場が違う人のことを理解して、相手の立場に立つことの大切さと思いやりの心を育て、実践意欲を高める。

#### ① 認知症について講話を聞く

役場の方から「オレンジプラン」として、認知症についての講話を聞く。

② 高齢者、障がいのある方々の疑似体験  
肘と膝にももりを付け、階段の昇降や、アイマスを身に付け白杖を使った歩行をし、仲間と共に介助する側、される側を体験した。介助する側の大変さも理解した。

・イヤードیفエンダーを付けて、聞こえづらさを体感した。難聴の方がそばにいたら、静かな環境を作ることが大切であることを学んだ。

・妊婦体験セットを使って、座る・立つ、靴下をはく、掃除をするなどの普段の生活の動きを体験し、妊婦さんの苦勞を知ることができた。

・ユニバーサルデザインの文具や食器などの体験をした。



▲疑似体験



#### ③ 訪問活動

(1) デイサービスセンター訪問

・職員の方に事前にデイサービスセンターの概要、利用者の方と接する際の心構えや注意点を聞く。

・利用者の方との交流や施設の見学をする。

(2) 学んだことをまとめる

・福祉について学習したことを振り返り、テーマごとにさらに調べるなどして、模造紙にまとめた。  
・保護者に向けて、学んだことを発表した。



▲デイサービス利用者との交流

### 成果

・デイサービスセンターの訪問を通して、福祉について興味をもち、より正しい知識を身に付け、自分たちができることを考えることができた。

・高齢者や障がいのある方々の疑似体験を通して、相手の立場に立つことの大切さを知り、実生活の中でできることを考えて実践していこうという態度を育てることができた。

## 南平野小学校

### 目的

福祉活動を積極的に推進し、福祉教育の充実を図る。

### 内容

○心の教育推進活動

・年間を通して、植物や生き物の世話をし、生命の大切さについて考える指導を行う。  
・地域のボランティアを招いて、へちま作りの指導を受け、たわし作りを四年生で行った。



▲へちま講座

・JAや農家の方の指導で、米作りを五年生で行い、収穫、炊飯を行った。  
・全校で大根を栽培し、「だいこんコンテスト」を開催することで、収穫への喜びを感じた。





▲大根の収穫

- ・助産師、保健師の協力を得て、三年生で「いのちの授業」を実施した。
- ・ハリヨの生態について学習するため三年生が加賀野池へ校外学習を行った。
- ・三年生が毎日ハリヨに乾燥赤虫の餌やりを行った。
- ・校区祭（いずみ祭）を「お弁当の日」として、家族でお弁当を作り、学校で一緒に食べる。

○総合的な学習の時間などによる福祉学習

- ・手話サークルによる手話講座やデイサービス訪問などを五年生が行った。
- ・子育て支援センター訪問や認知症講座を六年生で行った。

○伝統文化・達人の技の継承

- ・地域の達人から学ぶ（クラブ活動）（文化クラブ、アートクラブ）
- ・校区祭で、和太鼓演奏を鑑賞し、和太鼓体験活動を行った。



▲手話講座

- 児童による委員会や常時活動
- ・環境委員会が二田玉募金を行った。
- ・児童が毎日、校内バラ園の水やりを行った。

- 文化芸術鑑賞による情操教育
- ・文化庁指定の事業を受け、情操教育として、「こんにやく座」による「口はロボットの口」を全校で鑑賞した。

成果

- ・耳に障がいをもつ方やお年寄りの方との関わる学習を通して、福祉活動への理解を深めることができた。
- ・野菜やバラなどの世話を手間をかけて行う体験的な活動を通して、自然や他への生命を尊重する心情や探求心などの素地を養うことができた。
- ・地域の方々とふれあいを深めるとともに、地域を知り、地域を大切にすることをもちこたえた。

北小学校

目的

- ・高齢者や障がい者とのふれあいを中心とした福祉学習を意図的・計画的に工夫し実践することで、他への思いやる心を育てる。
- ・学校、保護者、地域との連携がより強化され、地域全体で支え合う温かい絆づくりを推進する。

内容

- 高齢者とのふれあい活動の実施（「総合的な学習の時間」等）
- ・特別養護老人ホーム「りんどう」の訪問（高齢者との交流）
- ・総合的な学習の時間で学んだことを発表（学習発表会）



▲高齢者との交流

- 祖父母参観・ふれあい教室など学校行事等でのふれあい活動
- ・祖父母や公民館関係の講師との交流
- ・登下校時における見守り隊の方との交流（お世話になる方を紹介する会）

○異年齢集団による交流

- ・1年生と北幼稚園の交流（伝承遊び・学校探検他）
- ・ゆ〜ゆ〜班によるふれあい活動（大縄跳び等）



▲北幼稚園との交流

- 授業クラブ・総合的な学習の時間等)での地域や保護者の方とのふれあい活動
- ・クラブやおはなしひろば〈講師〉
- ・野菜や米作り、みかん作り〈講師〉（2・3・5年生）
- ・町探検での交流（3年生）
- ・音楽療法や和太鼓の活動〈講師〉（なかよし）
- ・段ボールコンポストで堆肥づくりをした環境学習

**成果**

- ・高齢者とのふれあいの活動を通して、高齢者への理解を深め、自分ができることは何かを考えることができた。
- ・保護者や地域との連携により、教育活動のより一層の充実が図られ、北地区全体で支え合う温かい絆づくりが推進できてきている。
- ・幼児園や異年齢集団との交流を通して、異なる立場を理解し、他者を思いやる心と高学年としての自覚が育ってきている。
- ・なかよし学級では、音楽療法や和太鼓の活動を通して、リズム感を全体で覚え表現したり、意欲的に集中して活動に取り組んだりする姿が見られている。



▲米作り

**神戸中学校**

**目的**

- ・生徒会副会長を中心に、町社会福祉施設との交流を行い、他者を思いやる心を育てる。
- ・地域の清掃、行事への参加、ボランティア活動への参加等を通して、感謝の心、地域の一員としての自覚がもてるようにする。
- ・農作物や植物を育て、それを役立てることを通して、生命を大切にすることを育てる。

**内容**

1. もちのき園との交流
2. むかしの遊び体験学習(たんぼぼ学園との交流)
3. 鉢花の購入

**成果**

1. 神戸町社会福祉施設「もちのき園」で生徒会が募集した生徒と交流を行い、講師を招いてハーバリウム教室を実施した。



▲ハーバリウム



▲もちのき園との交流

2. 特別支援学級の生徒がたんぼぼ学園の幼児との交流を行うために、講師を招いて「むかしの遊び」について学習を行った。



▲おはじき

▲コマ回し

3. 特別支援学級の生徒がたんぼぼ学園に出向き、園児とのふれあい交流を行った。



▲園児との交流

4. 卒業式に飾る鉢花に水やりをして育て、式場を飾った後に「たんぼぼ学園・もちのき園」に寄贈した。この交流を継続することで福祉への意識を高めた。



▲鉢植えを手渡す様子